

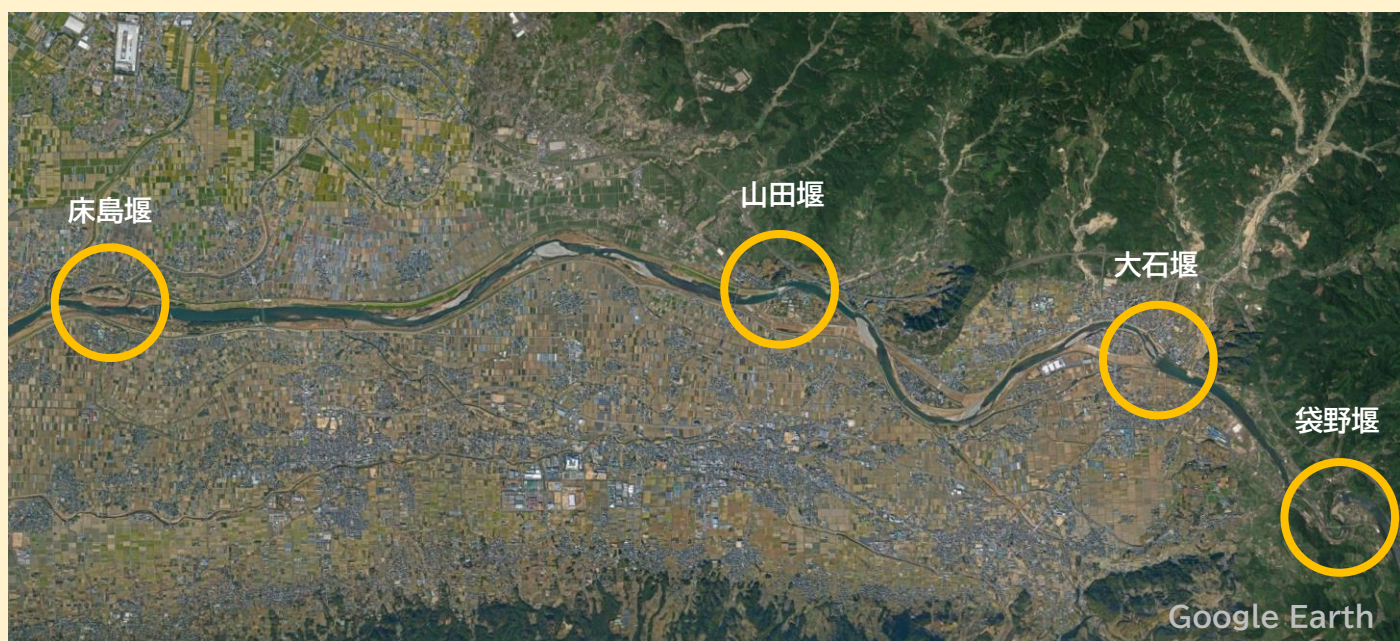
久留米大学御井図書館古賀邦雄河川文庫開設記念シンポジウム

筑後川四大井堰：その歴史と未来を考える

—袋野堰・大石堰・山田堰・床島堰—

江戸期に筑後川流域に四つの井堰(袋野堰・大石堰・山田堰・床島堰)が開削されたが、350年ほど経て、今でも農地を潤し、筑後平野における地域に重要な役割を果たしている。

先人たちの苦行は偉大である。この四つの堰の歴史・文化を振り返り、現代の課題を整理しつつ、その未来について考える機会としたい。



日時 2023(令和5)年12月17日(日曜日)13時45分～16時30分

会場 久留米大学御井キャンパス 500号館1階51A教室

13時45分～14時 紙芝居「筑後川と大堰神社」(床島堰ものがたり) 大刀洗町ふるさと案内人
四大井堰について 高木典雄(うきは市長)

①袋野堰 佐藤好英(浮羽まると博物館協議会会長)

②大石堰 三浦俊明(前・大石堰土地改良区理事長)

③山田堰 徳永哲也(前・山田堰土地改良区理事長)

④床島堰 古賀純弘(床島堰土地改良区理事長)

四大井堰意見交換会 コーディネーター 高木典雄(うきは市長)

入場無料
申込不要
公共交通機関で
お越しください

主催 久留米大学比較文化研究所筑後川流域圏研究部会

後援 袋野堰土地改良区 大石堰土地改良区 山田堰土地改良区 床島堰土地改良区